

LRTサミット鹿児島2015

岡山市の路面電車に関する取り組み

岡山市



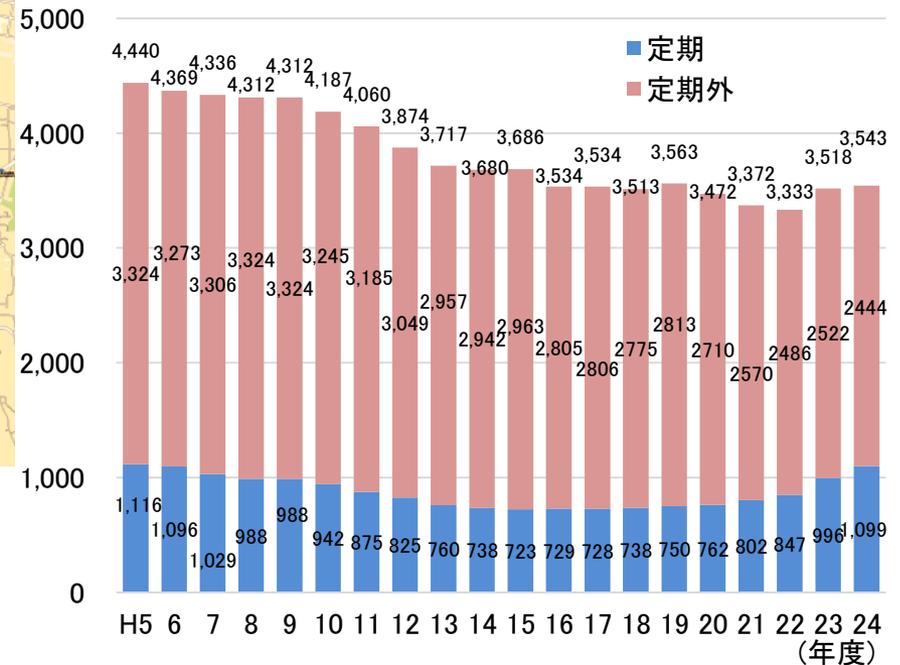
1. 路面電車の利用状況

- 市内の路面電車は、営業キロは4.7km(一部重複区間あり)で、全国で一番短い路線
- 路面電車の乗客数は、平成22年度までは減少傾向にあるが、23年度以降は少し増加傾向



超低床車両MOMO

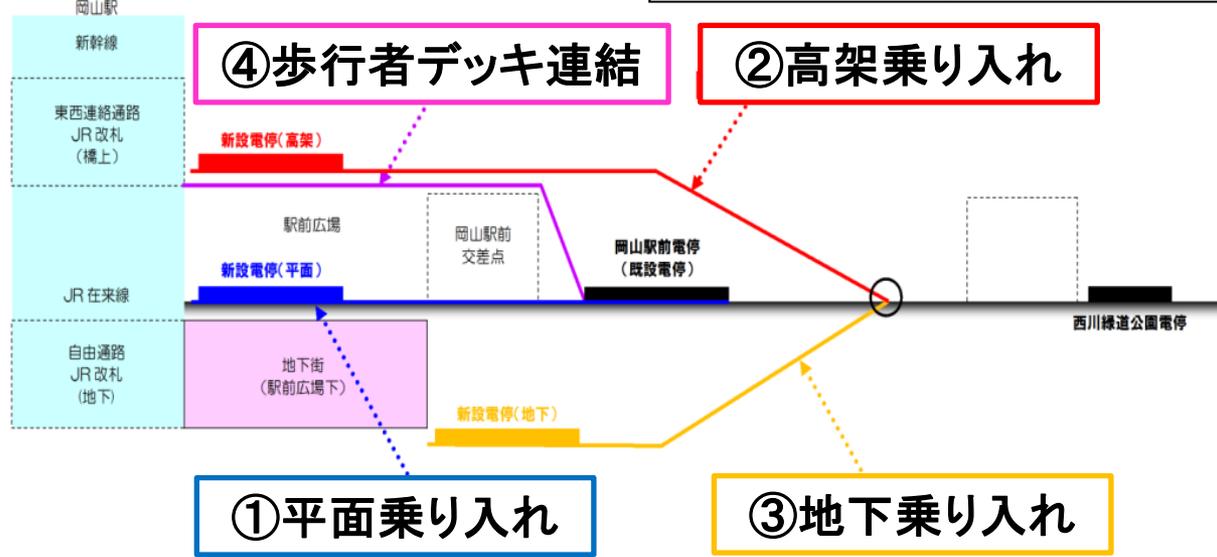
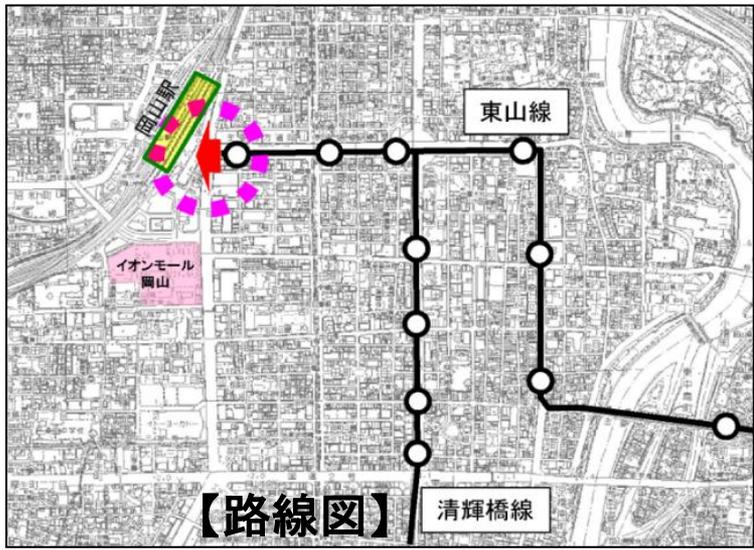
(単位:千人) 岡山市内路面電車乗客数の推移



資料:岡山電気軌道(株)

2. 路面電車の駅前広場への乗り入れ検討

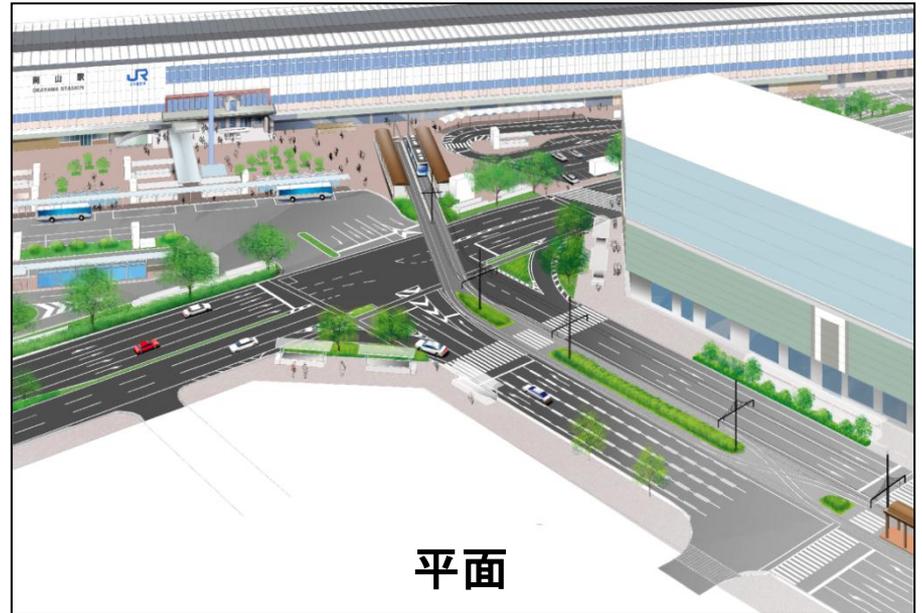
- 公共交通の利便性強化と回遊性の向上のため、岡山駅東口広場への路面電車乗入れ案を比較検討
- 調査・検討に当たり、平面、高架、地下乗り入れ、歩行者デッキ連結の4パターンで検討



【立面図】

5. 路面電車の駅前広場への乗り入れイメージ

- 平面、デッキ直線形と円形の3類型にまで計画案を絞り込んだところ
- 現在、警察、軌道事業者と駅前交差点の交通処理について協議中
- 駅前交差点の交通処理や地下街の店舗への影響、路面電車のわかりやすさや利用しやすさ、岡山の玄関口としてふさわしい景観形成、事業費など様々な視点から総合的に判断し、今年11月を目途に最終計画案を示す予定



ご清聴ありがとうございました。



LRTサミット鹿児島2015

今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望

岡山市



- 岡山市では、「岡山市都市交通戦略」を平成21年10月に策定
- 戦略目標として、①都心と地域拠点との連携軸の強化 ②都心内の回遊性の向上を掲げ、また、岡山市にふさわしい交通として、「だれもが利用しやすい公共交通」「人と環境にやさしいLRT」「岡山の気候や地形に適した自転車」の3つをあげている



岡山市都市交通戦略 概要版

平成21年10月

岡山市
OKAYAMA CITY



岡山市がめざす交通のすがた

充実した交通ネットワークと誰もが利用しやすい公共交通
人でにぎわう、歩いて楽しい都心空間の創生

交通戦略の目標(短期・中期の重点交通施策体系)

- ① 都心と地域拠点との連携軸の強化
- ② 都心内の回遊性の向上

岡山市にふさわしい交通

誰もが利用しやすい
「公共交通」

人と環境にやさしい
「LRT」

岡山の気候や地形に
適した「自転車」

コンパクトシティの実現

2. 吉備線の現況

JR吉備線の現況について

項目	吉備線の現状
区間	岡山～総社
区間長	20.4km (岡山市区間 14.4km、総市区間 6.0km)
適用法	鉄道事業法
単・複	単線
最高速度	85km/h
電化方法	全線非電化
駅	8駅 (起終点駅を含まず)
運行本数 (ピーク時)	3本/h
所要時間	約40分 (35～42分)



これまでの経過

- 平成15年2月 JR西日本が、富山港線と吉備線のLRT化構想を発表
- 平成21年10月 岡山市都市交通戦略を策定(吉備線LRT化は中期的施策と位置付け)
- 平成22年11月～ 岡山市・総社市・JR西日本の間で技術的検討会議を発足
- 平成26年8月 吉備線LRT化に関する3者トップ会議(岡山市長、総社市長、JR西日本社長)を開催

現在の状況

LRT化の検討にあたり、広く意見を聴取することを目的に、学識者、両市の地元代表・経済界代表、交通事業者等からなる「吉備線LRT化基本計画検討会議」を立ち上げ、基本計画策定に向けて議論しているところ。

現在の主な検討課題

- 運営スキーム
- 費用負担
- 沿線の土地利用

今後の予定

まずは、議論のたたき台となる基本計画素案を取りまとめ、市民や議会等から幅広く意見を伺い、基本計画を策定する。

4. 吉備線沿線の将来イメージ



ご清聴ありがとうございました。

